

津別町ゼロカーボンシティ宣言

本町は、面積の約 86%を広大な森林に囲まれ、林業・林産業が町の基幹産業として形成してきたことから、全町民が自然を守り育て、豊かな郷土の未来を築き、広く社会に貢献して行くため「愛林のまち」を昭和 57 年に宣言し、緑豊かな森林の維持、保全に努めてきました。

平成 19 年には、資源循環型の地域づくりを行うため、津別町バイオマスタウン構想を策定し、森林資源の循環により、森林を保全し林業の再生と環境保全型の地域循環社会を目指して、地域内での森林資源を持続的に活用し、エネルギーの地産地消を目指す地域内エコシステムの取組を進めて参りました。

現在、地球を取り巻く環境問題は、「愛林のまち」宣言を行った昭和 57 年から更に深刻な状況になってきています。世界規模の課題である気候変動問題の解決に向けて世界共通の長期目標が掲げられて、国では、2020 年 10 月に 2050 年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。

本町は、これまでの環境への取組の一層の推進を図り、将来にわたって豊かな森林資源を守り、持続可能な地域づくりを進めていくとともに、2050 年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言します。

令和 6 年 3 月 4 日

津別町長 佐藤 多一